

● 7月5日(水) 知床・硫黄山(シレトコスミレ) 曇 のち 晴れ

・朝3時15分に起床。外はうっすら明るいが天気は良くなさそうだ。朝食を食べたり、なんだかんだやっているうち時間が過ぎ、出発した時は4時を回っていた。知床五湖の手前から林道・知床公園線に入りカムイワッカの滝をめざして突っ走る。朝早いので車いないし、路面も荒れていないので思ったより走り易く、5時前にカムイワッカの滝駐車場に着いた。ここから先はゲートで通行止めになっている。この林道の通行許可は事前にとってあって携行して来たが、どこにも検問が無く、



フリーパスだった。駐車場は道端のスペースで、数台しか止められない広さ。神戸ナンバーのBMWの男性2人連れが登山の準備をしていた。私もすぐ登山の用意を整えて5時10分にスタートした。

・これから登る硫黄山は知床の奥にあり、ヒグマの巣窟でもあり、普段はほとんど登る人の無い山だ。シレトコスミレの咲くこの時期には入山者が増えるらしいが、多くても数パーティーか。神戸ナンバーの男性2人が先に登って行ったので、今日は私一人ではないので少し安心した。今日登るのはこの3人だけかな。ゲートの横を抜けて10分ほど林道を歩くと、硫黄山の登山口に着いた。ヒグマの巣窟だけあって、入口にはヒグマに注意の看板が立っている。今にもヒグマが出てきそうな登山口から林の中へと入った。もちろん熊鈴をジャラジャラ鳴らしながら、ヒグマに出会わないように祈りながら林の中の道を登った。天気は悪くどんよりと曇っている。



・1時間ほど登ると林を抜け旧硫黄採掘地に出て視界が開けた。といっても周りは霧が立ち込めて何も見えない。

・ここからは新噴火口と呼ばれる岩場の斜面を約1時間登るのだが、なんだかめちゃくちゃ調子が悪い。息は切れるし足が上がらない。

途中で「もうだめか、引き返すか」と何度も思ったが、喘ぎ喘ぎなんとか「新噴火口最上部」までたどり着いた。



・とにかく石の上に腰を下ろして一休みだ。

周りを見るとシロバナニガナ、イソツツジ、ウコンウツギ等 けっこういろいろな花が咲いていて、疲れを癒してくれる。



・ここからはハイマツのトンネルの斜面を登る。  
ハイマツの根が絡んだトンネルの斜面を登っているうちに徐々に調子に戻ってきて、ほぼ1時間で硫黄沢出会いに到着した。標高約900m。例年なら硫黄沢出会は雪渓の上で、ここから硫黄沢の雪渓の上を歩いて登るのだが、今年は雪解けが早くて硫黄沢出会に雪は無く、道標も無いので、この沢が本当に硫黄沢かどうかかわからず、少し登ってから不安になりまた沢出会まで引き返して地図で確認したりした。



硫黄沢出会い

・20分くらい涸れ沢の硫黄沢を石ころ伝いに登るとやっと雪渓が現れた。雪渓上にはトレースも見られるので、硫黄沢に間違いないと安心した。ここから長い雪渓の上を1時間以上歩く。



雪渓の先端に着いた

・8時45分、標高980mの硫黄沢の出会を出て標高差400m、長い長い雪渓の上をひたすら登る。雪は腐っているが、斜度はそれほどないので滑落する危険は無い。時々雪の切れ目からエゾコザクラの花が顔を出して慰めてくれる。



・途中ガスが出て視界が無くなったり、ガスが晴れてパッと視界が開けたりの繰り返しの中、2回も休憩をとって雪渓の上を登ること1時間余、標高1300m近くでやっと雪渓が切れ、砂礫の夏道に出た。雲の切れ間から硫黄山の山頂も見える。

・夏道は歩きやすい。霧がかかって視界が悪い時もあったが、だんだんと霧も晴れ、薄日が差すようになってきた。砂礫の夏道を「そろそろスマレが出てこないかな」と思い、足元をキョロキョロ見ながらしばらく登っていると、上から7,8人のパーティーが下って来た。「縦走して来たのですか？」先頭の白髭の頑強そうなリーダーが「ああ、そうだよ」「すごいですね！ところでスマレはありましたか？」「山頂の向こう側では少し見たけど、山頂からこっちでは全然見てないな」と絶望的な答えが返って来た。やあ、せっかく来たのにダメか。と思った時、パーティーの中の女性が「ここに咲いているじゃないの！」と歓声をあげた。



足元にシレットコスミレが咲いている！

足元を見ると、なんと！ 精一杯開いた花をつけたシレットコスミレの大きな株があるではないか。なんとという幸運だろうか。見つけてくれた女性に何回もお礼を申し上げた。

・さてゆっくりと撮影にかかろう。周りを探すと6,7株はあるだろうか。みんな花をいっぱい開いて私を迎えてくれた。撮影中に霧も晴れてすっかり天気が回復し太陽が顔を出して来た。私は我を忘れて約1時間シレトコスミレの撮影に専念した。



・見上げると青空をバックに硫黄山の山頂がすぐ上に見える。1時間も登れば山頂へ難なく行けそうだ。でも今回硫黄山に来たのはシレトコスミレに会いに来たのであって山頂を征服するのが目的ではない。老体で無理してはいけない。満開のシレトコスミレに会えたことの幸運に感謝し、山頂に一礼して山頂へは行かずそこから下山した。標高1350m付近だった。



・天気は回復し青空が眩しい。晴れるとさすがに暑い。長い雪渓も下りは早いが、足への負担が大きく足がガタガタだ。

・ハイマツのトンネルを抜け、噴火口の岩場を下り14時前に林道登山口に無事到着した。



ハイマツのトンネルを抜けて振り返ると、硫黄山がクッキリ見えた



林道を疲れきった足を引きずりながら歩きカムイワッカ湯の滝駐車場へたどり着いた。

駐車場はカムイワッカ湯の滝に遊びに来た車でいっぱいだ。

ヒグマに会うことも無く、無事念願のシレトコスミレに会うことが出来た。  
ああこれで今年の北海道も終わったな！！

(余談) 下りの雪渓でなんだか腰が痛いのでズボンを下ろして見たら、なんと「マダニ」が食い付いている。登りのハイマツのトンネルで付いてきたな。食われて間もないので引き剥がすことができた。赤く腫れ上がっているが痛みは無くなった。ひょっとしたらまだ頭が残っているかもしれない。  
今年は何厩岳でも食われたし「マダニ」に2回も食われた。帰ったら病院へ直行だな。

・カムイワッカ湯の滝で少し遊んでから林道をウトロへ戻った。



・とにかく暑いし、汗だらけの身体を何とかしたい。  
港の裏の高台にある町営の浴場「夕陽台の湯」へ急いだ。  
こじんまりした良い湯だった。ゆっくりと汗を流し疲れを癒した。

・夕食はコンビニで調達した食料で、ビール・ロング缶2本。  
念願のシレットコスミレに会えて、たっぷり写真も取れた。  
満足してぐっすり寝た。

